



有珠小だより

学校教育目標

- ◎進んで学習する子ども
- ◎思いやりのある子ども
- ◎たくましい子ども

〒059-0157 伊達市向有珠町195番地2 Tel : 0142-38-2004

伊達市教育委員会有珠小紹介ホームページ <https://www.city.date.hokkaido.jp/kyoiku/detail/00001171.html>

※個人情報保護のため、写真の解像度を落とし、児童・保護者の氏名掲載は控えております。

令和3年度を振り返って

校長 柳澤君彦

令和3年度も後1週間ほどで終わろうとしています。昨年度に引き続き、コロナの対応に迫られた1年でした。学校での感染拡大を防ぐとともに、学びを止めないことが最重要課題となり、様々な教育活動が制限される中、一人一台の端末を活用したオンライン学習等が急速に進みました。また、本校独自の課題として、令和5年春の閉校・統合を見据え、「大きな学校でも困らない子供の育成」に力を注いだ1年でもありました。

今日の修了式では、いくつかの項目について子供たちと一緒に振り返りました。

- ◆「**学習がわかる子**」～個人差はありますが、全国平均や目標値を概ね達成することができました。家庭での学習時間が増えると、さらに高まります。
- ◆「**自分の思いを伝えられる子**」～大勢の前ではっきりと話せる子が増えました。特に、伊達西小学校との交流授業では、1～4年生の子供たちは堂々と話すことができました。
- ◆「**よりよい人間関係を築ける子**」～子供同士の言動でいやな思いを抱くことやトラブルに発展したことはほとんどありませんでした。
- ◆「**運動ができる子**」～コロナ禍による運動の制限があったためか、短距離走や立ち幅跳びなどの瞬発力を必要とする運動に課題が残りました。
- ◆「**健康に過ごせる子**」～メディア（テレビ、ゲーム、スマホ等）に触れる時間が多過ぎて、睡眠時間や朝食の摂取に課題のある子どもがいます。

いくつかの課題は残りますが、「大きな学校でも困らない子供の育成」は概ね達成できたと思っています。そこで、令和4年度はさらにステップアップし「大きな学校でも**輝ける**子供の育成」を目指します。学力・体力をさらに高め、「**自分に自信を持てる子**」「**大勢の前でも活躍できる子**」を育てていきたいと考えています。詳しくは、4月参観日の全体懇談の場でお伝えいたします。

「真面目に一生懸命に」取り組むことを忘れずに



3月18日、14名の卒業生を送り出しました。

コロナと共に過ごした高学年の2年間、大きな声で笑ったり、思う存分体を動かしたりすることができず、不満を感じていたことでしょうか。また、大きな行事が変更、縮小され、高学年の力を十分引き出せなかったことが悔やまれます。

しかし、6年生14人は、とても真面目に一生懸命に取り組む子供たちでした。運動会のよさこいや学芸会の和太鼓では、誰一人恥ずかしがらず、手を抜かず、迫力ある演技・演奏で観ている人たちを感動させました。これから大人に近づくにつれて、感情を抑えるようになってきますが、「真面目に一生懸命に」取り組むことは決して恥ずかしいことではないということを、忘れないでほしいと思います。

無事に卒業式、修了式を終えることができました。これも保護者の皆様、地域の皆様の支えがあったからこそです。心より感謝申し上げます。年度末のお礼の言葉とさせていただきます。

